

清水町 町名変更に関する住民説明会 要旨

令和8年3月2日（月） 15：00～16：15

上清水福祉館

出席者：5名

説明員：・町長、鈴木企画課長

事務局：佐藤企画課長補佐、大和田企画統計係主査

1 開会

2 町長あいさつ

3 情報提供

別紙資料について説明（鈴木課長）

4 意見交換

○資料に観光産業の経済効果が記載してあるが、清水町は観光施設も宿泊施設も少ない。今後伸びていく見込みはあるのか。

→（鈴木課長）

町名変更をきっかけとして各種施策に取り組んでいきたい。宿泊施設は今後御影に新しく出来る予定である。経済効果については、北海道で調査した日帰り客が使う金額を基に算出している。

○住民票の住所などが変更全部になるのか。

→（鈴木課長）

住民票の住所や本籍表示が全て変わることになる。

○十勝清水という名前は自由にみんなが使っている中で、今このタイミングで町名を変える必要があるのか。

→（町長）

すでに色々な場所で使われているが、愛称と正式名称を統一することで、認知度が向上すると思っている。

○町名変更の優先順位が本当に高いのか疑問に思う。例えば老朽化した公共施設など新しくする方法で外向けにPRすることもできる。

→（町長）

公共施設改修などの大きな事業については、優先順位を付けて取り組んでいる。町名変更以外の事業を止めることはしない。公共施設の老朽化などでさらに経費が掛かってくる中、町の名前を広くPRしていくことも大切だと思っている。町名変更は見えないインフラだと考えており、経済にかかわる全てのことの入口だと思っている。企業誘致に取り組んでいくため、町の名前をまずは知ってもらうことが重要だと考える。

○経済効果の根拠はあるのか。

→（鈴木課長）

正確な数字を予測することは性質上難しい部分があり、期待値となる。町名変更による経済効果は、しっかりと検証する必要があると思っている。

○これまでにやってきた町をPRする取組みに、さらに力を入れていった方が良いのではないか。

→（町長）

これまではそれぞれの施策が単独でPRしており、あまり効果的ではなかったと感じていて、複数の政策を組み合わせることで初めて効果が出るのだと思っている。町名は全てに関わる基盤であり、それを整備するための投資だと思っている。人口減少が進むなかで今までと同じことをやっていくことには危機感を感じている。

5 閉会